

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	海半球計画の新展開：最先端の海底観測による海洋マンツルの描像
研究代表者	歌田 久司
審査の所見	<p>応募者らは、先行プロジェクトでプレート沈み込み過程の理解の進展に重要な役割を果たし、国際的に高い評価を得ている。本研究はその発展を図るもので、リソスフェア－アセノスフェア境界物理とマンツル遷移層内水循環という固体地球科学の重要課題に挑戦するものである。観測と得られたデータの高精度解析による研究であり、観測場所にプレート境界ではなく構造の不均質性が比較的少ない標準的な西太平洋海盆を選び、陸域と同等同質の海底広帯域地震・電磁気観測を目指している。これらの観測器と解析技術は、応募者らが独自に開発した最先端のもので、独創的な研究目的と相俟って画期的な成果が期待されることから、特別推進研究として相応しく、採択すべき課題であると判断した。</p>